

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研Advance

②施設・事業所情報

名称：	横浜あさひ中央保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	施設長 横澤 まゆみ	定員（利用人数）：	90（93）名	
所在地：	241-0825 神奈川県横浜市旭区中希望が丘141番地6			
TEL：	045-442-8721	ホームページ：	https://www.asahichuo.ed.jp	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2020年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人横浜育愛会			
職員数	常勤職員：	18名	非常勤職員：	14名
専門職員	保育士	21名	栄養士	1名
	看護師	1名	調理員	8名
	事務員	1名		
施設・設備の概要	居室数	保育室6室 調理室 調乳室 事務室 休憩室 えほんのおへや	設備等	乳児用トイレ 幼児用トイレ 沐浴室 園庭 ベランダ テラス 多目的トイレ 大人用トイレ3

③理念・基本方針

<p><保育理念> 豊かな育ち 心もからだも健やかに育つ、園と家庭が連携し、よき環境をつくる</p> <p>共に育む 愛と真心のもと、保育士も保護者もそれぞれの役割を果たし、子どものよき成長のために援助支援する</p> <p>共に喜ぶ 保育士は、子どもの成長発達を喜び、専門職に生きがいと喜びを感じる 保護者は、我が子の成長を喜び、保育者からの援助支援に感謝と喜びを感じる</p> <p><保育方針> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達の違いを尊重し、心と体の健やかな子どもに育てる。 ・健康に留意して、丈夫な体を持つ子どもにする。 ・遊びと生活の中で活動する意欲を持ち、生き生きと過ごせる子どもに育てる。 ・友達を思いやり、ものを大切にする子どもを育てる。 ・自然や社会との関わりを持ち、豊かな心を持つ子どもを育てる。 ・自主的、主体的な活動を重視し、心情、意欲、態度を育てる。 </p>
--

④施設・事業所の特徴的な取組

園は、最寄りの駅よりほど近い、住宅街の中に立地しています。
 電車が見えるので、子どもたちは、玄関先や2階のテラスから喜んで手を振っています。
 園庭では、砂場遊びや滑り台、アスレチックなどで元気よく遊び、2階のベランダでは、クラスごとにプランターで野菜を栽培して、水やりをしながら観察を楽しんでいます。
 2階の「えほんのおへや」には、様々な絵本を取り揃え、好きな絵本を子どもが自分で選びやすいように配置して、ゆったりと絵本を楽しめる空間づくりを行っています。
 系列法人の幼稚園バスを利用して、一面芝生の広い公園などに出かけて、思い切り体を動かして遊んでいます。
 3～5歳児クラスは、専門講師の指導による体操の活動でマット運動やかけっこ、鉄棒などで体づくりや体幹の強化を図っています。運動会では、3歳児クラスは「旗体操」、4歳児クラスは「パラバルーン」、5歳児クラスは「組立体操」を行って、その成果を発表しています。
 食育活動も積極的に取り組み、給食委託会社と連携して様々な活動を取り入れて、子どもたちが食について関心を深められるようにしています。
 保護者に対しては、夕涼み会や運動会、おゆうぎ会、誕生会などで子どもの成長の様子を見てもらっているほか、随時受け付けている保育参観は、日常の園生活の様子を知ってもらう良い機会となっています。また、クラスごとに「壁新聞」を作成して活動の様子を写真で伝えています。
 地域に向けた子育て支援の取り組みとして、一時保育の受け入れのほか、未就園児とその保護者を対象に、園庭開放や育児講座、交流保育を実施しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2025年4月24日 (契約日) ~ 2025年10月21日 (評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1 回 (2020 年度)

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆職員全体で子どもの様子を共有し、個々に応じた保育実践につなげています
 乳児会議や幼児会議、リーダー会議では、各クラスの様子や子ども一人ひとりの状況に応じた対応方法を共有しています。また、0～2歳児の「成長発達のチェックリスト」や3～5歳児の「成長の記録」なども職員間で共有し、全員で統一した援助を行えるようにしています。各クラスの保育実践の振り返りも共有しながら、次につなげるための子ども一人ひとりのねらいと配慮事項などについて、園長、主任、副主任、看護師も含めて、職員個々の気づきや思いを伝え合っています。こうした話し合いを通して、保育を実践するうえで大切にすることを確認し合っており、クラスや職種を超えて、一つのチームですべての子どもと向き合えるようにしています。

◆様々な経験を積み重ねながら、豊かに成長できるよう環境を整備しています
 子どもたちが伸び伸びと園生活を楽しめる環境を整備し、友達と協力し合って活動する中で自分の力を発揮できるようにしています。訪問調査日には、3歳児が色付きの寒天で夢中になって遊び、4歳児は好きな食べ物の絵を自由に描いて発表し、5歳児は共同製作で保育室に飾るお月見の夜空を絵の具で描いていました。全クラスで行う「お買い物ごっこ」では、3～5歳児がお菓子などを製作してお店屋さんになり、0～2歳児がお客さんになって買い物を楽しんでいます。食育では足踏みしてうどんの生地を作り、ペットボトルを使ってバター作りをしています。こうした様々な活動を取り入れて、子どもたちが豊かに成長できるよう保育にあたっています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

横浜あさひ中央保育園は2020年の新設時に1回目の第三者評価を受審し、今年度は2回目の受審となりました。今回の結果は運営、保育共に概ね良い評価をいただき安心致しました。保育園としては3期目の卒園児を送り出し、0歳児から5歳児までの1年間の生活の流れがしっかりと出来てきました。前回の第三者評価で課題となった幼保小の取り組みや地域支援は、この5年間で地域にパイプをつなげ様々な交流に参加できるように努めてまいりました。

私たちは今回の受審が保育士にとって「保育の質の向上」につながる良い機会ととらえ、2020年に受けた評価内容を振り返りながら保育計画や保育マニュアルを見直し、全員で今年度の評価項目について園内研修を重ねました。保護者様にご協力いただいたアンケートは大変気持ちのこもった内容でした。園のことを大切に考えてくれているご意見は改めて保育を振り返るきっかけになりました。

アンケート結果は職員全員で閲覧し、その上で早急に改善できる所は直ぐに対応して改善に努めてまいります。また、保護者様から頂いたたくさんの温かいお言葉は、毎日保育に入っている保育士にとっては何よりの励みになり、明日への頑張りに繋がっています。本当にありがとうございました。今回の受審においてご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり